

# 当院の取り組み

Agency's efforts

ホーム > 当院の取り組み > 重度先進慢性期医療 > 自動喀痰吸引器

## 当院の取り組み

Agency's efforts

### 重度先進慢性期医療

#### 自動喀痰吸引器

透析とリハビリテーション

痙縮治療とリハビリテーション

言語聴覚士について

慢性期医療を支える機器

身体拘束・抑制撤廃

褥瘡対策

心のケアの取り組み

ナラティブホスピタル

環境に優しいエコの理念

井戸水プラントについて

1日看護体験・介護体験開催のお知らせ

地域リハケアネットワーク

患者図書室「みどりの森」

短期入院協力病院

## 重度先進慢性期医療

### 自動喀痰吸引器

#### 自動喀痰吸引器とは？



専用ポンプ:アモレーSU1

24時間一定の低量で持続的に吸引を行うシステムで、呼吸を妨げることなく、カテーテル内腔から痰を吸い上げられます。器械の特徴としては、低圧であり、吸引圧と量の調整が独立しています。さらに機械音がとても静かである事が、利点です。自動喀痰吸引器は、多くの気切患者様の安全と、看護・介護負担の軽減につながるものと考えております。

参照: 大分協和病院「Dr山本の診察室」



気管切開カテーテル:ネオブレスWサクション



「Adobe Flash Player」のサポートは終了しました

#### 自動喀痰吸引器使用前後の吸引回数の比較

<使用前>

17.5回 / 日



<現在>

2.9回 / 日

自動喀痰吸引器によって吸引回数の顕著な軽減が、患者様の負担を減らすことができるようになります。

#### 患者様と介護者の負担を減らし、穏やかな入院生活をサポート

高齢者の増加とともに、慢性期医療への役割が変化している中、重症度の高い患者様に対するケアの確立は、今後も大きな課題です。当院では、自動喀痰吸引器を現在80台導入して、今できる事を最大限に活かし、患者様に寄り添う時間を作り上げていく事を目指しています。

[▲このページの先頭へ](#)

メインメニュー

- [トップページ](#)
- [フォトギャラリー](#)
- [当院のご紹介](#)
- [人工透析](#)
- [入院のご案内](#)
- [リハビリテーション](#)
- [お問い合わせ](#)
- [訪問リハビリ室](#)

サブメニュー

- [地図・アクセス](#)
- [サイトマップ](#)
- [お見舞いメール](#)
- [当サイトのご利用環境について](#)
- [プライバシーポリシー](#)

スペシャルメニュー

- [自動喀痰吸引器](#)
- [広報誌「ナラティブ通信」](#)
- [数字で見る富家病院](#)
- [健康診断](#)
- [身体拘束・抑制撤廃](#)
- [リハケアネットワーク](#)
- [ナラティブホスピタル](#)
- [掲載メディア](#)
- [1日看護体験・介護体験開催のお知らせ](#)



医療法人 社団富家会 富家病院  
〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保2197  
TEL 049-264-8811 (代表)  
FAX 049-266-2287

Copyright(c) FUKE Hospital All Rights Reserved.